

右折車線の「複線(2車線)化、延伸、路面文字表示」により、「渋滞・事故発生要因」の解消

〔交差点位置〕

一般国道58号沖縄県浦添市勢理客

〔状況〕

名護方面から浦添市西洲(商業卸団地)
方面への右折車両が多いことにより渋滞
が発生

〔事故および渋滞発生状況〕

①朝のピーク時は最大1.94kmの渋滞
長が発生

②年間平均5.25件の事故発生

③交差点内での事故の多発

〔対策〕

①右折車線の複線化

②右折滞留長の延伸

③路面文字表示の設置

〔効果〕

渋滞の解消、事故平均19%減少

●位置図



●対策前の状況



【右折付加車線と滞留長の不足による渋滞】
ピーク時の右折交通量に対する附加車線の容
量不足等により、渋滞発生を引き起こしている。

勢理客交差点内での事故
21件/4年間 (H16~H19)

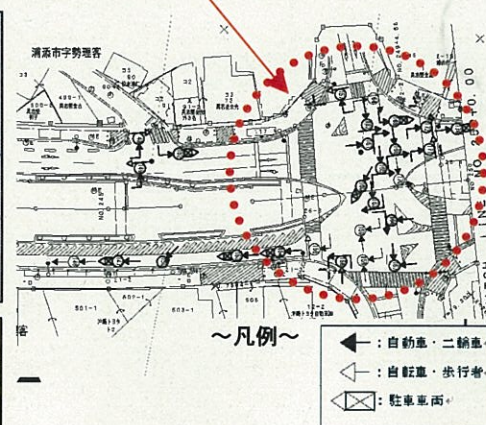


図1 勢理客交差点の対策前の状況

●対策内容

【対策②】右折滞留長の延伸

【対策③】路面文字表示の設置

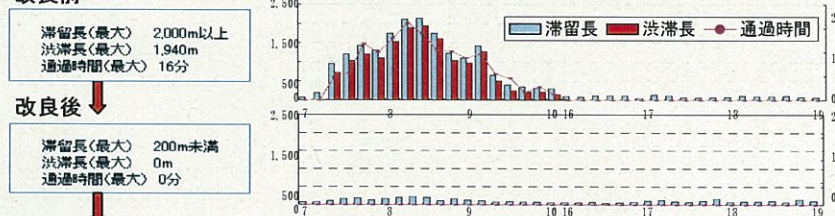
【対策①】右折車線の2車線化

図2 交通事故対策実施内容



●対策効果

改良前 ◇円滑面に着目した効果(渋滞長・交差点通過時間)



解消 表1 ビデオ観測による交通挙動分析結果

◇事故低減効果の比較

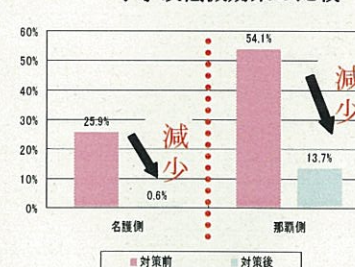


表2 挙動による事故対策の効果把握

